

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7226 URL <http://www.kyokuto.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長最高執行責任者(氏名) 高橋 和也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長(氏名) 近藤 治弘 (TEL) 0798-66-1500
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	63,100	17.7	5,530	85.9	5,717	74.0	3,057	57.5
25年3月期第3四半期	53,620	16.8	2,975	82.7	3,286	89.8	1,940	40.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,017百万円(132.0%) 25年3月期第3四半期 2,162百万円(88.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	76.95	—
25年3月期第3四半期	48.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	104,955	62,954	59.9
25年3月期	97,894	58,850	60.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 62,910百万円 25年3月期 58,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	14.7	7,500	46.1	7,600	35.5	3,800	19.8	95.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗していることから、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、平成25年11月6日に公表いたしました業績予想を上記の通り修正いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	42,737,668株	25年3月期	42,737,668株
26年3月期3Q	3,007,216株	25年3月期	3,006,168株
26年3月期3Q	39,731,096株	25年3月期3Q	39,731,918株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新興国における経済成長の減速などの要因があったものの、米国の財政問題の持ち直しや、欧州の信用不安が一定の落ち着きを見せたことおよび円安・株高の継続、公共投資の増加など内外需要はともに堅調に推移したほか、政府主導の経済政策により個人の消費マインドも改善するなど、景気の回復が進行しました。

このような状況下、当社グループは新中期経営計画「Next Step 2015」～さらなる飛躍に向けて～（平成25年4月1日～平成28年3月31日）の初年度として、経営の更なる強化に向けた基盤構築および企業としての価値や総合力を高めるべく、各種の施策を実行しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は、主力の特装車事業の増加等により9,480百万円（17.7%）増加して63,100百万円となりました。損益面では、売上高の増加ならびに収益性の向上により、営業利益は2,555百万円（85.9%）増加して5,530百万円、経常利益は2,430百万円（74.0%）増加して5,717百万円、四半期純利益は1,116百万円（57.5%）増加して3,057百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

①特装車事業

国内においては、特装車の需要は引き続き高い水準で推移しました。当社グループでは、継続してこれら受注の積極的な確保に努めるとともに、納期短縮に向け各工場の生産効率の向上をより強力に進めました。これにより、建設関連車両では大型ダンプトラックやコンクリートポンプ車、環境関連車両ではごみ収集車や脱着ボデー車、物流関連車両では粉粒体運搬車やトレーラを中心に、業績は好調に推移しました。

また、ハイブリッドバッテリーの電気で装置を駆動させる電動式塵芥収集車「eパッカー® ハイブリッド」や、車載式の木材破砕機「LOG BUSTER® LB-515TK」など、他社との協業による画期的な製品開発も併せて推進しました。

海外は輸出が堅調に推移したほか、インドネシア工場（PT. Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia：プルワカルタ市）では、正式稼働に向けて体制を整えました。

これらの結果、売上高は7,820百万円（17.7%）増加して51,921百万円となりました。営業利益は、第1四半期連結会計期間に中国の生産子会社において貸倒引当金を計上したものの、売上高の大幅な増加により、807百万円（35.3%）増加して3,096百万円となりました。

②環境事業

プラント建設部門は、市場環境は厳しい状況が継続しているものの、5月に埼玉県志木市・新座市・富士見市の3市からなる一部事務組合である志木地区衛生組合様より粗大ごみ・ビン処理施設を、6月に三重県津市役所様よりリサイクルセンターをそれぞれ受注するなど、積極的な受注活動を引き続き進めました。メンテナンス・運転受託部門では、グループ各社で連携して受注活動に努めるとともに、グループ会社の統合による事業の効率化を推進しました。

これらの結果、売上高は、大型物件の建設工事が前年度末で完了したことによる工事進行基準売上高の一時的な減少により、579百万円（10.3%）減少して5,019百万円となりましたが、営業利益は、運転受託やメンテナンスが好調であったことから、143百万円（51.1%）増加して423百万円となりました。

③不動産賃貸等事業

立体駐車装置は、市場競争の厳しさが継続したものの、本年4月の消費税引上げ等を背景にマンション需要が増加していることから、新規物件の受注活動を積極的に行ったほか、リニューアル案件にも継続して事業強化を推進しました。コインパーキングでは、事業地の確保および拡大や、稼働率向上による収益の確保を図りました。

また、新規事業として参入したメガソーラー発電所につきましては、昨年3月の福岡工場（飯塚市）に続き、昨年9月には旧東北工場（八戸市）の発電所も稼働し、新たな収益源として今後のグループ業績に寄与する体制を整えました。

これらの結果、売上高は、パーキング事業の増加およびメガソーラー発電所の新規計上のほか、販売用不動産の売却の要因もあり、2,296百万円（52.3%）増加して6,684百万円となりました。営業利益は、1,591百万円（213.6%）増加して2,337百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は7,060百万円（7.2%）増加して104,955百万円となりました。

流動資産につきましては、有価証券及びたな卸資産等の増加により3,813百万円（7.5%）増加して54,933百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により3,247百万円（6.9%）増加して50,022百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金等の増加により2,830百万円（10.0%）増加して31,146百万円、固定負債は社債及び長期借入金の返済の一方、繰延税金負債の計上等により126百万円（1.2%）増加して10,854百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したこと等により、4,103百万円（7.0%）増加して62,954百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は59.9%（前連結会計年度末60.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗していること等から、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、平成25年11月6日に公表いたしました業績予想を修正いたします。

(ご参考)

平成26年3月期通期連結業績予想値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成25年11月6日発表)	百万円 85,000	百万円 7,000	百万円 7,000	百万円 3,600	円 銭 90.61
今回修正予想 (B)	88,000	7,500	7,600	3,800	95.64
増減額 (B - A)	3,000	500	600	200	
増減率 (%)	3.5	7.1	8.6	5.6	
前期実績 (平成25年3月期)	76,724	5,134	5,608	3,171	79.82

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,861	4,937
受取手形及び売掛金	33,628	29,820
有価証券	3,222	6,035
商品及び製品	222	654
仕掛品	2,955	4,327
原材料及び貯蔵品	6,030	7,134
前払費用	336	409
繰延税金資産	1,156	1,068
その他	580	586
貸倒引当金	△873	△41
流動資産合計	51,120	54,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,431	12,247
機械装置及び運搬具(純額)	2,273	2,803
土地	19,904	19,851
建設仮勘定	197	294
その他(純額)	866	889
有形固定資産合計	35,673	36,086
無形固定資産		
その他	389	424
無形固定資産合計	389	424
投資その他の資産		
投資有価証券	8,994	11,660
長期前払費用	410	407
繰延税金資産	42	5
その他	2,481	4,379
貸倒引当金	△1,217	△2,942
投資その他の資産合計	10,710	13,511
固定資産合計	46,774	50,022
資産合計	97,894	104,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,680	20,214
短期借入金	2,620	2,720
1年内償還予定の社債	494	307
1年内返済予定の長期借入金	1,728	1,475
未払法人税等	712	1,505
未払消費税等	480	270
未払費用	2,804	1,518
引当金	756	1,854
その他	1,039	1,280
流動負債合計	28,315	31,146
固定負債		
社債	147	—
長期借入金	2,101	1,131
長期預り保証金	3,052	2,888
退職給付引当金	1,872	1,750
役員退職慰労引当金	146	161
繰延税金負債	2,655	4,242
その他	753	680
固定負債合計	10,728	10,854
負債合計	39,044	42,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	35,799	37,946
自己株式	△2,145	△2,147
株主資本合計	57,272	59,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,706	3,542
為替換算調整勘定	△127	△50
その他の包括利益累計額合計	1,578	3,492
少数株主持分	—	43
純資産合計	58,850	62,954
負債純資産合計	97,894	104,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	53,620	63,100
売上原価	42,661	48,598
売上総利益	10,959	14,502
販売費及び一般管理費	7,983	8,971
営業利益	2,975	5,530
営業外収益		
受取利息及び配当金	136	153
負ののれん償却額	282	—
為替差益	47	221
雑収入	61	112
営業外収益合計	527	487
営業外費用		
支払利息	115	88
持分法による投資損失	16	105
雑支出	83	107
営業外費用合計	215	300
経常利益	3,286	5,717
特別利益		
固定資産売却益	4	5
投資有価証券売却益	—	10
資産除去債務取崩益	—	8
特別利益合計	4	25
特別損失		
固定資産処分損	17	23
早期割増退職金	20	—
減損損失	1	—
その他	2	1
特別損失合計	41	25
税金等調整前四半期純利益	3,250	5,717
法人税等	1,309	2,655
少数株主損益調整前四半期純利益	1,940	3,061
少数株主利益	—	4
四半期純利益	1,940	3,057

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,940	3,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249	1,835
為替換算調整勘定	△26	99
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	20
その他の包括利益合計	221	1,956
四半期包括利益	2,162	5,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,162	5,013
少数株主に係る四半期包括利益	—	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	44,082	5,599	3,939	53,620	—	53,620
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	19	—	449	468	△468	—
計	44,101	5,599	4,388	54,089	△468	53,620
セグメント利益	2,288	280	745	3,313	△338	2,975

(注) 1 セグメント利益の調整額△338百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△350百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,909	5,018	6,172	63,100	—	63,100
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	12	1	512	525	△525	—
計	51,921	5,019	6,684	63,626	△525	63,100
セグメント利益	3,096	423	2,337	5,857	△326	5,530

(注) 1 セグメント利益の調整額△326百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。